

令和 8 年度（2026 年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【B 日程入試】法律専門科目試験

刑法 出題の趣旨

問題 1

問題 1 は、刑法総論および各論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。具体例を設定させるのは、適切な具体例の設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1) は、刑法の原則論に属する場所的適用範囲に関する基本的な理解を問うものであり、属地主義、属人主義などの基本的概念を正しく理解しているかを確認する。(2) は、犯人蔵匿等罪において第 1 に論じられる「罪を犯した者」の意義に関する基本的理解を問うものであり、複数ある見解の概要を正しく理解できているかを確認する。

問題 2

問題 2 は、刑法総論上の典型論点である社会的相当性と違法性阻却の問題と、刑法各論上の典型論点である名誉毀損罪における客体の特定の問題を組み合わせた事例問題である。

前者については、違法性の意義に照らして社会的相当性を欠く行為に違法性阻却の効果を認めるべきかについての判断およびその根拠を解答者が正しく意識できているかを問っている。後者については、名誉毀損罪において客体が特定されているかをどのような枠組みで判断するかについての理解を、事例の解決を通じ確認する。